

令和2年度宮城県ストップ温暖化賞

気仙沼地域エネルギー開発株式会社

「漁業のまち気仙沼で木質バイオマス熱電供給事業に取り組む」

【活動概要】

- 平成26年から、林業事業体や自伐林業から買取した未利用間伐材等の木質バイオマスをチップ燃料として、気仙沼港近くに建設した木質バイオマスガス化発電施設（リアスの森バイオマスパワープラント）により、発電した電気を地域新電力会社「気仙沼グリーンエナジー」へ全量卸し、市内公共施設へ電力供給するとともに、熱は市内のホテルに冷暖房・給湯用に供給している。
- 燃料となる間伐材等は、気仙沼地域の素材生産事業体と協定に基づく供給を主体に、市内の自伐林家から購入し、買取価格の半分は地域通貨「リネリア」で支払うことで、地元商店の活性化を図っている。
- 自伐林家養成塾「森のアカデミー」を開校し、個々の山主への林業技術研修（チェーンソー、搬出、作業道等）により自伐林家の育成を図っている。

受賞者略歴

2012年2月11日

- ・株式会社気仙沼商会が中心となり設立

2014年

- ・発電と熱供給の試験操業を開始

2016年

- ・本格稼働開始現在に至る

■発電能力 800kw

■公共施設へ電力供給，市内2ホテルへ熱供給



地域内循環のしくみ



地域通貨「リネリア」



自伐林家から間伐材を買い取る



人材育成「森のアカデミー」